

横浜市PFI事業進捗状況等確認調書 要約【進捗状況・財務状況・所管局による評価など】

事業No.	1	2	3	4	5	6
事業名	横浜市環境創造局 北部汚泥資源化センター 消化ガス発電設備整備事業	横浜市瀬谷区総合庁舎及び 二ツ橋公園整備事業	川井浄水場再整備事業	戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業 に伴う公益施設整備事業	横浜市南部汚泥資源化センター 下水汚泥燃料化事業	みなとみらい21中央地区20街区 MICE施設整備事業
所管局課	環境創造局 北部下水道センター	市民局 地域施設課	水道局 浄水課	市民局 地域施設課	環境創造局 下水道設備課	文化観光局 MICE振興課
PFI事業者	株式会社bay eggs	グリーンファミリーーズ瀬谷株式会社	ウォーターネクスト横浜株式会社	アートプレックス戸塚株式会社	株式会社バイオコール横浜南部	株式会社横浜グローバルMICE
構成企業 (一番上欄は代表企業)	JFEエンジニアリング株式会社 東芝インフラシステムズ株式会社	大和リース株式会社横浜支店 株式会社ハリマビシステム 株式会社共立	メタウォーター株式会社 メタウォーターサービス株式会社 三菱HCキャピタル株式会社 月島機械株式会社 東電パワーテクノロジー株式会社	三菱HCキャピタル株式会社 鹿島建設株式会社 株式会社ハリマビシステム 株式会社共立 ココマーケティング株式会社	電源開発株式会社 鹿島建設株式会社 月島機械株式会社 月島テクノメンテサービス株式会社 バイオコールプラントサービス株式会社	株式会社竹中工務店 株式会社小俣組 日本管財株式会社 三菱HCキャピタル株式会社
協力企業		鹿島建設株式会社 株式会社NTTファミリーーズ 株式会社環境デザイン研究所 株式会社日本レストラエンタプライズ	鹿島建設株式会社 株式会社東京設計事務所	株式会社東畑建築事務所 株式会社レストランモア	太平洋セメント株式会社	株式会社佐藤総合計画
進捗状況(令和3年3月末時点)						
設計	○	○	○	○	○	○
建設	○	○	○	○	○	○
維持管理・運営	○	○	○	○	○	○
事業終了	—	—	—	—	—	—
令和3年度の進捗状況	<p>【維持管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通じて大きなトラブルはなく、また、不定期に発生した小トラブルについては、迅速且つ適切な処置を実施することにより、運転信頼度の向上に努めた。 <p>【運営業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成22年1月に全5台(1~5号機)稼働による本格的な運営・維持管理業務を開始して以降12年以上が経過し、事業契約における運転期間(20年間)の60%以上を終了した。 各エンジンの総運転時間は79,000時間を超え、2号機(7月)、4号機(4月)、5号機(5、6月)のD点検を実施した。 	<p>【統括管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月の定例モニタリングにおいて、市の要望等や利便性や利用サービスの向上に留意した業務の報告・相談を行った。 瀬谷公会堂の運営において、新型コロナウイルスまん延防止等重点措置による施設利用料金の返還等の業務及び利用制限等の案内業務を行った。 <p>【維持管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常点検、月次点検において年間計画に基づき業務を実施し、予定通り維持管理業務を完了した。 <p>【運営業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公会堂 <ul style="list-style-type: none"> 稼働率(日割り): 287日(目標: 339 達成率: 84.7% 前年度: 78.4%) 利用者数: 44,968人(前年度: 30,995人) 利用料収入: 8,582千円(目標: 7,560千円 前年度: 6,189千円) 新型コロナウイルスの影響による制限もあるが、稼働率、利用者数、利用料収入とも前年を若干上回った。 <p>【その他(自主事業)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食堂・売店 <ul style="list-style-type: none"> 利用者人数: 26,341名(前年度: 24,919名、1,422名増) 売上: 12,391千円(目標: 13,604千円 前年度: 11,624千円) 1人当たり売上: 470円/人(前年度: 466円) 利用者制限により利用者数、売上ともに新型コロナウイルス前より落ちているが、昨年よりは増となった。 売店においては、廃棄ロス削減の為に適正発注を継続した。 昨年度より引き続き、緊急雇用創出事業としてコロナ禍の影響で職を失った方を雇用し、庁舎内窓口テーブル、ビニールカーテン、ドアノブ、手摺等の消毒作業を実施した。(PFI事業外) 	<p>【維持管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転管理業務 保全管理業務 水質管理業務 災害・事故対策業務 安全衛生管理業務 施設公開業務 保安業務 清掃業務 <p>※前年度と同様に新型コロナウイルス感染症対策のため、一般見学の受入を中止中。SPC側で受け入れたい場合には、市に事前確認。</p> <p>◆要求水準未達事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年1月9日に、SW-HUBの再起動が発生し、膜ろ過装置24台の全停止が約14分間発生。(実施した是正処置に関する是正報告書を5月27日に提出済) 	<p>【維持管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に大きな事故、トラブル等もなく業務を遂行 <p>【運営業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区民文化センター <ul style="list-style-type: none"> 利用者数: 75,849人(前年度比 43,769人増) 収入: 39,154千円(目標値: 43,378千円 前年度比 19,805千円増) 駐車場 <ul style="list-style-type: none"> 利用台数: 137,656台(前年度比 6,163台増) 収入: 22,395千円(目標値: 16,194千円 前年度比 2,677千円増) 食堂 <ul style="list-style-type: none"> 利用者数: 17,199人(前年度比 2,924人増) 収入: 18,725千円(目標値: 48,000千円 前年度比 6,393千円増) 多目的スペース <ul style="list-style-type: none"> 稼働率: 96.2%(前年度比 14.9ポイント増) 収入: 6,518千円(目標値: 5,670千円 前年度比 2,241千円増) 各運営業務の利用及び収入は、前年度と比較すると改善しているが、新型コロナウイルスの影響が無かった平成30年度と比較すると継続して厳しい状況にある。 	<p>【統括管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃料化設備の管理運営業務 <p>【維持管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃料化設備の日常点検および定期修繕等 <p>【運営業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 下水汚泥の処理 <ul style="list-style-type: none"> 汚泥受入量: 46,693.02[t/年] (計画46,500[t/年] 計画比100%) 燃料化物の製造 <ul style="list-style-type: none"> 出荷量: 7,215.75[t/年] (計画7,158[t/年] 計画比101%) 温室効果ガスの削減 <ul style="list-style-type: none"> 削減量: 5,135[t-CO2/年] (計画5,800[t-CO2/年] 計画比90%) 	<p>【統括管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総括マネジメント業務 総務・経理業務 事業評価業務 <p>【維持管理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築物保守管理業務 建築設備保守管理業務 植栽維持管理業務 修繕業務
令和3年度の財務状況 【単位: 千円(千円未満切捨)】						
損益計算書						
売上高	262,622	193,712		419,588	345,039	29,227
経常利益	11,260	6,088		36,498	23,440	15,993
当期利益	8,246	4,578		25,007	16,335	11,390
貸借対照表						
総資産	623,922	2,685,267		9,220,644	2,773,367	2,364,028
総負債	397,739	2,560,324		8,884,792	2,288,759	2,239,774
純資産	226,183	124,943		335,851	484,607	124,353
うち資本金	30,000	30,000		100,000	50,000	50,000
備考		R3年度は新型コロナウイルス感染症関係の支援金等はなし。			R3年度は新型コロナウイルス感染症関係の支援金等はなし。	
所管局による評価						
事業面	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理・運営業務に対して、総合的なモニタリングを行った結果、電力及び温水の供給等は適正に行われ、業務目標が達成されたことが確認された。 平成22年1月に消化ガス発電機全5台(1号機~5号機)稼働の本格的な維持管理・運営業務を開始して以降12年以上が経過し、事業契約における運転期間(20年間)の60%以上を終了した。 今期は、年間の取引電力量が計画値を若干上回り、熱供給量は計画値を下回ったが、消化ガスの有効利用率はほぼ計画値であり、バイオマスエネルギー有効利用による電力の地産地消に貢献できたものと考えられる。 令和3年度は、2・4・5号機の各エンジンについてD点検が実施された。点検中は対象号機が停止されたため、通常時より少ない台数での運転となったが、各号機のスケジュール調整等により無事終了した。 令和4年度は1・3号機のD点検が予定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各施設とも日常点検及び月次点検等を行っており、維持管理・運営上の大きな問題はない。 突発的なトラブルやその対応についても、定例モニタリング会議等を通して共有されている。 新型コロナウイルス感染症拡大防止として、瀬谷公会堂の一時休館や利用制限を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ほぼ計画どおり、浄水施設維持管理業務を問題なく行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に、各施設とも日常点検及び月次点検等を行い、維持管理・運営上の大きな問題はない。 年間を通して、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことにより利用者数、収入については平成30年度の新型コロナウイルス感染症の影響前より大幅に減少している。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年4月より施設の管理運営を予定通り開始しており、令和3年度は、約46,000tの汚泥を処理し、計画どおり進捗している 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りの点検と突発的な不具合への対応を行うことにより、施設の機能及び性能を維持しており、大きな問題はない。
財務面	<ul style="list-style-type: none"> 今期は本格的な営業運転の12期目となるが、良好な事業運営がなされている。 前年度と比較し、売上高および利益は減少しているが、契約時および年度当初の計画値との比較では利益が増加し、良好な実績をあげている。 事業は順調に推移し、良好な財務状況にあるといえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度計算書類等(令和3年4月1日から令和4年3月31日までの第13期事業年度)を確認を行った結果、特に大きな問題はなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 財務状況は、ほぼ計画どおり安定的に推移しており、財務上の問題、あるいは今後の経営に影響を及ぼすと思われる懸念や疑義は発生していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度計算書類等(令和3年4月1日から令和4年3月31日までの第12期事業年度)に関して、以下の項目に基づいて確認を行った結果、特に大きな問題はなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 金融機関との直接協定に基づいて財務チェックを行っており、問題がないことを確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> 金融機関との直接協定に基づいて財務チェックを行っており、問題がないことを確認している。
その他	-	-	-	-	-	-

横浜市PFI事業進捗状況

事業No.	7	8	9	10	11	12
事業名	横浜市北部汚泥資源化センター 汚泥処理・有効利用事業	みなとみらい21中央地区20街区 MICE施設運営事業	横浜文化体育館再整備事業	上郷・森の家改修運営事業	みなとみらい公共駐車場運営事業	本牧市民プール再整備事業
所管局課	環境創造局 下水道設備課	文化観光局 MICE振興課	市民局 スポーツ振興課	市民局 地域施設課	文化観光局 MICE振興課	市民局 スポーツ振興課
PFI事業者	株式会社横浜Bay Link	株式会社横浜国際平和会議場	株式会社YOKOHAMA文体	上郷フォレストPFI株式会社	株式会社横浜国際平和会議場	本牧ベイパーク株式会社
構成企業 (一番上欄は代表企業)	JFEエンジニアリング株式会社 奥多摩工業株式会社 株式会社ティ・シー 東芝インフラシステムズ株式会社 奥多摩建設工業株式会社	—	株式会社電通 株式会社フジタ/大成建設株式会社 日本管財株式会社/公益財団法人横浜市スポーツ協会 株式会社梓設計/川本工業株式会社 馬淵建設株式会社/株式会社渡辺組 スターツコーポレーション株式会社	株式会社紅梅組 フロンティアコンストラクション&パートナーズ株式会社 株式会社R.project 石井造園株式会社	—	馬淵建設株式会社 フロンティアコンストラクション&パートナーズ株式会社 株式会社ヤマト 株式会社アメニティシステム
協力企業	横浜改良土センター株式会社	—	株式会社アーキボックス/株式会社ハリマビシステム 株式会社電通東日本/株式会社テレビ神奈川 株式会社神奈川新聞社/横浜エフエム放送株式会社 株式会社ティ・エヌ・エー/株式会社横浜アリーナ	相鉄企業株式会社 株式会社デザインの森 エバラ食品工業株式会社	—	パンフィックコンサルタンツ株式会社 株式会社田辺設計 扶桑電機株式会社
進捗状況(令和3年3月末時点)						
設計	○	—	○	○	—	○
建設	○	—	○	○	—	—
維持管理・運営	○	○	○	○	○	—
事業終了	—	—	—	—	—	—
令和3年度の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 【統括管理業務】 <ul style="list-style-type: none"> 建設工事の設計/建設/工事監理業務 既設焼却炉/汚泥燃料化施設/改良土プラントの管理運営業務 【設計業務】 <ul style="list-style-type: none"> 新1号焼却炉に関する機器調達業務 【建設業務】 <ul style="list-style-type: none"> 3号焼却炉解体撤去 新1号焼却炉建設工事(令和4(2022)年3月31日引渡し) 【維持管理業務】 <ul style="list-style-type: none"> 既設焼却炉/汚泥燃料化施設/改良土プラントの日常点検および定期修繕等 【運営業務】 <ul style="list-style-type: none"> ●市から供給された消化汚泥等の処理(業務計画:114,873t/年)(既設焼却炉および汚泥燃料化施設において年間総計117,215.828t) 第1四半期(29,269t)、第2四半期(27,807t)、第3四半期(30,353t)、第4四半期(29,786t) 	<ul style="list-style-type: none"> 【統括管理業務】 <ul style="list-style-type: none"> 統括マネジメント業務 総務、経理業務 事業評価業務 【維持監理・保全業務】 <ul style="list-style-type: none"> 建築物保守監理業務 建築設備保守監理業務 外構施設保守監理業務 清掃業務 環境衛生(廃棄物処理を含む)業務 什器備品保守監理業務 警備業務 修繕業務 周辺基盤施設の維持監理業務 【運営業務】 <ul style="list-style-type: none"> ●運営業務 <ul style="list-style-type: none"> 催事件数 :92件 実質日数稼働率 :26% 参加者数 :106,000人 ・広報/誘致業務 ・什器備品の貸出業務 ・駐車場運営業務 ・安全管理/防災/緊急事態等対応業務 ・行政/周辺施設との連携業務 ・MICE運営事業期間終了時の引継業務 	<ul style="list-style-type: none"> 【統括管理業務】 <ul style="list-style-type: none"> 事業スケジュール管理業務 統括マネジメント業務(調整、管理監査、要求性能確認) 総務、経理業務(予算管理、決算管理業務) 事業評価業務(モニタリング実施計画) 【設計業務】 <ul style="list-style-type: none"> メインアリーナ実施設計 各種関係機関との調整 検査等対応業務 【建設業務】 <ul style="list-style-type: none"> 旧横浜文化体育館解体工事 メインアリーナ建設工事着工 【維持管理業務】 <ul style="list-style-type: none"> サブアリーナ維持管理 【運営業務】 <ul style="list-style-type: none"> ●サブアリーナ運営 <ul style="list-style-type: none"> 利用料金収入:125,642,995円(計画値:184,623,776円) ※コロナ助成金は含まれていない。 利用者数:610,134人(計画値:450,000人) 【その他】 <ul style="list-style-type: none"> ・メインアリーナ施設名称に係る市民意見募集 	<ul style="list-style-type: none"> 【統括管理業務】 <ul style="list-style-type: none"> 連絡会議の開催 業務計画書、報告書の提出 決算業務、事業評価業務 【維持管理業務】 <ul style="list-style-type: none"> 各設備点検/保守業務 ◆要求水準未達事項 <ul style="list-style-type: none"> 令和3年12月23日、公衆浴場水質分析検査(浴槽水)結果にて、男子浴槽水からレジオネラ菌を検出。 原因は公衆浴場法において定められている適切な消毒作業を実施していなかったため。 女子、男子ともに浴場の使用を中止し、計3回高濃度消毒液にて消毒を実施。 2/1 是正を確認し、大浴場の使用を再開 【運営業務】 <ul style="list-style-type: none"> ●上郷・森の家 施設運営 <ul style="list-style-type: none"> 年間利用宿泊数:12,583名(計画:23,621名 前年度数:7,503名) ●アウトドアフィールド(キャンプ場運営) <ul style="list-style-type: none"> キャンプ宿泊数:1,472名(計画:3,600名 前年度数:2,873名) 日帰りBBQ利用者数:3,000(計画:8,002名 前年度数:2,873名) ●飲食提供業務 <ul style="list-style-type: none"> カフェテリア年間売上:19,593,468円(計画:40,572,460円 前年度:12,524,860円) kokko年間売上:14,90,889円(自粛休業8~10月中旬)(計画:14,556,050円 前年度数:576,329円) ・広報/営業等マーケティング実施 ・利用者モニタリング実施 	<ul style="list-style-type: none"> 【統括管理業務】 <ul style="list-style-type: none"> 統括管理業務 総務/経理業務 事業評価業務 【維持管理業務】 <ul style="list-style-type: none"> 建築物保守管理業務 建築設備保守管理業務 環境管理業務 清掃業務 什器備品管理業務 修繕業務 施設台帳及び図面の管理業務 【運営業務】 <ul style="list-style-type: none"> ・利用規則に関する業務 ・駐車場料金徴収業務 ・誘導・案内業務 ・行政/周辺施設との連携業務 ・保安警備及び防災業務 ・利便施設等管理業務 ・広報業務 ・自主事業 ・本事業期間終了時の引継業務 ・その他業務 ●駐車場利用台数:307,257台(自動二輪含む) 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年9月契約締結 【統括管理業務】 <ul style="list-style-type: none"> SPC設立業務 経営管理業務委託契約締結 設計業務/工事管理業務委託契約締結調整業務 金銭消費貸借契約締結及び調整業務 取締役会開催及び調整業務 【設計業務】 <ul style="list-style-type: none"> 設計業務及び工事管理業務委託契約締結 基本設計業務
令和3年度の財務状況 【単位:千円(千円未満切捨)】		横浜国際平和会議場の財務状況	本事業の財務状況		横浜国際平和会議場の財務状況	本事業の財務状況
損益計算書						
売上高	5,050,385	7,746,291	1,361,913	1,465,336	148,065	7,746,291
経常利益	11,906	▲182,307	▲10,152	4,054	4,126	▲182,307
当期利益	8,681	▲206,535	▲11,020	3,224	3,901	▲206,535
貸借対照表						
総資産	8,533,072	45,962,973		10,494,144	879,396	45,962,973
総負債	8,382,875	36,505,276		10,307,709	869,163	36,505,276
純資産	150,196	9,457,697		186,435	10,232	9,457,697
うち資本金	100,000	7,565,000		100,000	10,000	7,565,000
備考			R3~5年度の運営権対価支払予定額の一部を9年度以降の支払に繰り延べ	新型コロナウイルス感染症関係の補助金等(42,699,667円)を、特別利益と特別損失に計上	新型コロナウイルス感染症関係の補助金等(6,104,339円)を、雑収入とその他営業外費用に計上	—
所管局による評価						
事業面	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度末迄に3号炉焼却炉の解体工事と新1号炉焼却炉建設を含む建設工事を全て完成させており、これに伴い予定されている建設工事が全て完了した。 ・上記に伴い令和4年度より本格的に管理運営業務に移行する、これは予定通りの進捗内容であり計画通り進捗していると判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの点検と突発的な不具合への対応を行うことにより、施設の機能及び性能を維持しており、大きな問題はない。 ・当初の予定から催事の件数は少なかったが、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で積極的なセールスによりMICE開催に結び付け、また、大きなトラブルなく運営を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年7月に供用開始したサブアリーナは引き続き順調に稼働している。 ・旧横浜文化体育館の解体について、特段問題なく終了し、当初の計画どおり令和4年1月にメインアリーナの建設工事の着工を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、施設の利用制限等を行ったが、損失分については運営支援を行うなどしたため、運営上の大きな問題はない。 ・12月の大浴場でのレジオネラ菌菌検出を受け、契約書に規定する水準及び仕様を満たしていないと判断したため、文書による注意を行い、是正報告を求めた。 ・引き続き、施設の維持管理・運営体制については注意してモニタリングしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな問題なく、運営を実施している。 ・計画通りの点検と突発的な不具合や事故への必要に応じた修繕等を行うことにより、施設の機能及び性能を維持しており、大きな問題はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設計業務を着実に進捗させている。
財務面	<ul style="list-style-type: none"> ・金融機関との直接協定に基づいて財務チェックを行っており、問題がないことを確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、今後も厳しい経営状況が見込まれるが、昨年度と比較して赤字幅が大幅に縮小していること、筆頭株主である本市も経営支援を行っていることから、当面の事業活動の継続性に懸念はないと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の事業活動の継続性に懸念はないと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、施設の利用制限等を行ったが、損失分については運営支援を行うなどしたため、事業の継続性に問題はないと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、今後も厳しい経営状況が見込まれるが、昨年度と比較して赤字幅が大幅に縮小していること、筆頭株主である本市も経営支援を行っていることから、当面の事業活動の継続性に懸念はないと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題がなく適正に事業を進められている。
その他	—	—	—	—	—	—